

こどもを事故から守りましょう！

こどもの身の回りにはキケンがいっぱい！でも、周囲の大人のちょっとした気配りで、事故の大部分は防ぐことができます。

ポットやアイロン、炊飯器などの高温になる家電は子どもの手の届かないところに置く。また、暖房器具は、熱が直接触れないようにし、低温火傷にも気をつける。



高さのあるところからの落下や転倒、ドアの指はさみなどのケガを予防するための工夫をする。また歯ブラシやお箸をくわえたまま走らせない。ベランダや窓のそばに踏み台になるような物を置かない。



化粧品、薬、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く。また、ピーナッツや飴、小さいおもちゃ、マグネットなど、誤飲の恐れのあるものを置いたままにせず、子どもから目を離さない。



福島県こども救急電話相談

● #8000 ● 024-521-3790 (#8000 につながらない場合)

※時間:毎日午後7時～翌朝8時まで

夜間に突然子どもの具合が悪くなったとき、看護師や医師などがお子さんの様子を伺いながら、家庭で可能な対処法などのアドバイスをを行います。

相談内容に緊急性があった場合は、迅速な救急出動につなげます。



＼こちらも確認／

「保存版 子どもの救急について(改訂版)」
(福島県)



＼併せて活用ください／

症状の緊急度を素早く判定！全国版救急受診アプリ「Q助」(総務省消防庁)

(公財)日本中毒情報センター「中毒 110 番」※24 時間 365 日対応

●大阪中毒 110 番 072-727-2499

●つくば中毒 110 番 029-852-9999

化学物質(たばこ、家庭用品など)、医薬品、動植物の毒などによる中毒事故が実際に起きて、どう対処したらよいか迷った場合は相談してください。



予期せぬ事故と予防法・対処法
「こどもの事故防止ハンドブック」
(こども家庭庁)

＼スマホでチェック／



こどもの思わぬ事故を防ぐための
豆知識を随時発信しています。
消費者庁公式X(旧 Twitter)



製品による子どもの事故等の情報
を発信しています。
(独立行政法人国民生活センター)

食品、雑貨等の回収・無償修理
子ども向け商品リコール情報
(消費者庁)



＼実際に体験ください／



事故の危険性と予防法を体験
「事故予防モデルルーム」(ニコニコこども館4階)